

## □ 機能追加・改善内容

No.	項目	内容
1	ビーコン送出機能	ビーコンの送出間隔を変更する機能 (ieee80211 beacon interval)を提供します。
2	認証自動切替機能	認証自動切替機能の設定反映を動的に変更する機能を提供します。
3	ProxyARP機能	ARPスプーフィングによるセキュリティリスクを軽減するため、ProxyARP機能の工場出荷設定を無効 (proxyarp use off)に変更します。
4	高速転送モード	ハードウェアアクセラレーションによりパケット転送できる機能を提供します。 本機能は工場出荷状態で有効 (system bridge acceleration mode enable)になります。
5	周辺アクセスポイント検出機能	周辺アクセスポイント情報機能 (show ieee80211 apscan)において、SecurityフィールドにWPA3、Modeフィールドに11axを追加します。
6	バンドステアリング機能	バンドステアリング機能 (wlan band-steering mode enable)を設定できる無線LANインタフェースの上限を8から16に拡張します。
7	端末可視化機能	本機能で使う内部情報(辞書)を更新します。
8	ノイズ回避機能	ノイズ回避機能 (ieee80211 noise-detect use)を5GHz帯に対応します。
9	無線 LAN 機能	屋外モードを有効 (ieee80211 outdoormode on)、スキャンチャンネルリスト (ieee80211 chanlist)にW52または53を設定した場合、スキャンチャンネルリストが無効になる機能を提供します。
10	無線 LAN 機能	表示コマンドの信号強度の表示を RSSI → SNR に変更します。 ・周辺アクセスポイント情報表示 (show ieee80211 apscan) ・無線LANモジュール統計情報 (show ieee80211 statistics) ・無線LANインタフェースのSTA情報 (show wlan sta)

## □ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00 ~ V20.03	sysnameコマンドに「\$%&();<>¥\」の記号文字を使用すると、システムログが記録されない。本修正適用以後、sysnameコマンドに使用可能な文字を英数字、ハイフン(-)およびアンダースコア(_)での入力へ変更する。
2	V20.00 ~ V20.03	ftpログイン後の無操作時間が、show usersのidle表示に反映されない。
3	V20.03	show usb storage status を実行しても何も表示されないことがある。
4	V20.03	不正なARPフレームを受信した場合、装置再起動が発生する場合がある。
5	V20.03	無線LANアクセスポイントが同期してビーコン送信を開始したことを示す、以下のシステムログが記録されない場合がある。 wireless: wlan <number> ap: synchronized with <bssid> ssid "<ssid>" channel <ch> start.
6	V20.00 ~ V20.03	DHCPクライアント機能が有効でIPアドレスが未取得状態の時に、IEEE802.1X認証が行われると、IPアドレス割り当て後もIEEE802.1X認証が失敗し、無線端末が接続できない状態となる。
7	V20.00 ~ V20.03	EtherにタグVLANを9個以上設定するとそのVLANに属さない無線のタグVLANインタフェースが生成されない。
8	V20.00 ~ V20.03	装置起動後、無線LANの初期化完了前に、動的反映を行うと動的反映後に無線LANインターフェースがUPしない場合がある。
9	V20.03	バンドステアリング情報表示で「Waiting for wlan interface active.」が表示され、STAの情報が表示されない場合がある。
10	V20.00 ~ V20.03	clear logging errorコマンド実行直後に電源オフするとエラーログが消えない場合がある。
11	V20.00 ~ V20.03	装置起動直後のシステムログ/エラーログが記録されない。または、一部が欠けた状態で記録されることがある。
12	V20.00 ~ V20.03	構成定義コマンドにドル記号(\$)を含む文字列を設定した場合、設定値が正しく反映されない場合がある。